

(2024 年 1 月号掲載)

## 群馬県内企業の太陽光発電設備の導入に関する調査

群馬経済研究所 主任研究員 櫻澤広祥  
研究員 大井飛知岐

### 調査のポイント

昨今、エネルギー価格の高騰が企業経営に大きな影響を及ぼしている。企業が取れる対策としては太陽光発電設備の導入が挙げられる。本稿では、太陽光発電が全国に普及した経緯などを整理し、県内企業の太陽光発電設備の導入状況や導入する際の課題について当研究所が調査した結果を報告する。

### 要約

- 太陽光発電設備の主な用途は、FIT 制度における買取価格の低下や事業用電力価格の高騰により、「売電」から「自家消費」へ変化しつつあると考えられる。
- アンケート調査では、自家消費用の太陽光発電設備を導入している企業は、4 社に 1 社の割合であった。
- 太陽光発電設備の導入に関する課題として、「導入費用が高い」・「採算が問題」・「設置場所がない」といった意見が多くあった。
- 課題解決の具体策としては、PPA モデルの活用や、国や地方自治体の補助金・融資制度の活用などが挙げられる。